

官公庁入札 元銀行員が 参入方法をレクチャー

実は誰でもできるって知っていますか？

- だれでも簡単に元請けになれる
- あなたも下請けから元請けへ
- 入札コンサルもできるよう

現役入札事業者が分かりやすくご説明



官公庁（主要省庁）入札事業とは

- 官公庁入札の規模は25兆円規模、180万件

- 全国の中小企業で入札参加資格を取得している企業およそ2.1%程度

- 入札参加資格取得したときから官公庁の仕事の元請けとなります。今まで下請けしかしなかった事業主様でもその日からすぐに元請けとなり逆転現象が起こります

- 入札参加資格取得まで平均1ヶ月

- 入札参加資格取得できる条件

- ・所得税、法人税、消費税の延滞がないこと

●種類は、物品販売、役務（軽微な工事案件）、物品の製造

●入札案件は多種多様

(物品販売)

ボールペンや消しゴム、机、クローゼット、空気清浄機、クリアファイル、紙、灯油、精米防草シート、防寒着、碎石、ベニヤ、コンパネ、原木等々

(役務)

役務とは軽微な1000万円程度までの工事案件、空調機保守点検、ボイラー保守点検、防火設備保守点検、コンクリート舗装工事、アスファルト舗装工事、樹木伐採、樹木剪定、貯水槽清掃、油水分離層清掃役務、産業廃棄物収集運搬役務、外壁工事、塗装工事、タイルカーペット工事、内装工事、土木、襖や畳交換役務、食堂運営1年契約、自動販売機設置、食堂清掃1年契約、各種清掃関連

(物品製造)

製造品

●一口に官公庁と言っても国どの機関なのか分かりますか？

・大きく分けて3機関に分かれます

①（国、省庁）例えば、防衛省（陸上自衛隊、航空自衛隊、海上自衛隊）、厚生労働省、経済産業省、財務局、高等裁判所、税務署等々。

②（外郭団体）例えば、国立大学、日本赤十字病院、日本郵政等々

③（自治体）各県庁、市町村、県警等々



●官公庁の中でも自治体以外が入札参加しやすい機関となります。自治体は談合に近いので難しい場合が多い

●参加事業主は、零細企業から大企業まで様々で零細企業は経費も少なく入札金額を低く入れられる。一方、大企業はスケールメリットで仕入れは安いが経費は大きいため、最終的には零細と大企業で競ります

●支払は早く納品後10日以内の完成検査。合格から30日以内に入金されます。

●入札資格取得することで、取引先や顧客からの信用力が格段に増し、銀行融資にも有利になります。

●案件は湧き水のようにいつでもあります。自分の仕事の忙しさに合わせて参加

●世の中の仕事に楽で儲かる仕事はないが、この事業が成功最速の事業となることは実証済。

●営業不要、宣伝広告不要でこれほどの仕事を獲得できることなど他には無い

●完全公平公正な取引となり 1円でも安い事業主が落札できる

無料オンライン相談をする

https://timerex.net/s/bmw530move_e90b/043dbe7b →



無料オンライン相談をする

https://timerex.net/s/bmw530move_e90b/043dbe7b →



(料金表)

1.全省庁統一資格（入札資格）の代行申請費用	1 式	49,800円
2.官公庁入札実務マニュアル提供+入札資格代行申請	1 式	380,000円
3.官公庁入札実務マニュアル提供+入札資格代行申請+3か月間サポート	1 式	480,000円
4.公告案件最新リスト提供（12カ月更新 18,000円/月 × 12 = 216,000円）	1 年	216,000円